

- 問1 3世紀の日本の様子が記された中国の史書『三国志』の「魏志」倭人伝において、約30の国々をまとめ、中国の魏に使いを送ったとされる邪馬台国の女王は誰ですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 卑弥呼 2. 持統天皇 3. 推古天皇 4. 北条政子
- 問2 弥生時代における「ムラ同士の争い」は、その後の日本の社会構造にどのような変化をもたらしましたか。当時の社会の流れとして最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 北海道公立入試 類似)
1. 争いを通じて周辺のムラが統合され、クニと呼ばれる強力な政治的まとまりが形成された 2. 争いを避けるために人々が再び移動生活に戻り、定住する集落が一時的に消滅した 3. 争いを鎮めるために、各集落が完全に独立したまま交流を断つ鎖国のような状態になった 4. すべての人が平等に食料を分配する仕組みが作られ、身分の差が完全になくなった
- 問3 弥生時代に作られた吉野ヶ里遺跡のような「環濠集落」が、縄文時代の集落にはほとんど見られない防御的な構造（深い堀や土塁など）を持つようになった背景として、最も適切な理由は何ですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 大規模な建築技術が導入されたことで、権力者の権威を象徴するための装飾として堀を作ることが流行したため。 2. 大陸から伝わった稲作によって食料の備蓄が可能になり、土地や水を巡る集落間の争いが始まったため。 3. 巨大な前方後円墳を造営するための土を確保する目的で、居住地の周囲を深く掘り下げる必要があったため。 4. 狩猟採集が中心の社会において、森から降りてくる野生動物の侵入を物理的に遮断する必要があったため。
- 問4 弥生時代の社会状況を示す事例として、香川県にある紫雲山遺跡のように、瀬戸内海を一望できる高い山の上に作られた「高地性集落」があります。卑弥呼が邪馬台国を治めていた時期を含め、このような特殊な場所に集落が作られた理由として、当時の社会背景を説明したものを選びなさい。 (2021年 香川県公立入試 類似)
1. 稲作が普及する中で、土地や水をめぐる集落間の争いが激化し、防御や監視に有利だったため。 2. 遣隋使や遣唐使として派遣される人々を、高い場所から見送る儀式を行うため。 3. 白村江の戦いで敗れた後、唐や新羅の侵攻に備えて防御拠点としての城を築いたため。 4. 大陸から伝来した仏教を修行するための山岳寺院を建てる必要があったため。
- 問5 邪馬台国の女王である卑弥呼が、当時の中国（魏）に使者を送り、金印や銅鏡を授かった政治的な背景として最も適切なものはどれか。 (2018年 福島県公立入試 類似)
1. 日本列島を統一するために、魏の軍隊を日本へ招き入れようとしたため 2. 大陸の先進的な稲作技術を独占し、食料の生産力を飛躍的に向上させるため 3. 中国の強力な王朝との結びつきを示すことで、国内における自らの権威を高めるため 4. 仏教を日本に導入するための経典や仏像を、魏の皇帝に要求するため
- 問6 古代の東アジアにおいて、倭（日本）などの周辺諸国の首長や国王が、中国の皇帝に使者を送り、貢物を捧げた外交形式を何と呼びますか。この形式において、使者は中国の皇帝からその地域の支配権を認められ、称号や金印を授かることで、自らの権威を高めようしました。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
1. 民間貿易 2. 通商 3. 冊封 4. 朝貢
- 問7 弥生時代の日本における生活や道具について述べた次の文のうち、歴史的事実として正しいものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. ナウマンゾウなどの大型の動物を捕らえて主な食料としていた 2. 表面に縄目の文様がついた土器が、煮炊きや貯蔵に広く使われた 3. 稲作が本格的に広まり、収穫のために石包丁が利用された 4. 大陸から渡来人によって仏教が伝えられ、寺院が建立され始めた
- 問8 弥生時代から古墳時代にかけて、収穫道具が「石包丁」から「鉄鎌」へと変化したことに伴い、収穫の方法はどのように変化したか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
1. 実った穂先だけを摘み取る方法から、株の根元から刈り取る方法へと変化した 2. 石の表面で穀を削る方法から、金属の刃で穂を細かく刻む方法へと変化した 3. 地中の根を掘り起こす方法から、穂を叩いて実を落とす方法へと変化した 4. 手作業で一粒ずつ拾う方法から、土器を使って一度に回収する方法へと変化した
- 問9 奈良県などの古墳から出土する銅鏡などの考古資料は、当時の中国の王朝から邪馬台国の女王へ贈られたものである可能性が検討されています。中国の歴史書には、卑弥呼が「親魏倭王」の称号とともに百枚の銅鏡を授かったという記述がありますが、このとき外交関係を結んでいた中国の王朝名を答えなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 秦 2. 魏 3. 唐 4. 隋
- 問10 弥生時代の大規模な集落に見られる「環濠集落」について、集落の周囲に深い壕や柵を設けた当時の社会的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 大陸から伝わった最新の建築技術を誇示し、周辺の豪族に対して政治的優位を示すため 2. 稲作が普及して蓄えられた食料や土地をめぐる争いが始まり、防御を固める必要があったため 3. 大規模な洪水や高潮などの自然災害から、住居や高床倉庫が流されるのを防ぐため 4. 仏教が伝来したことで、寺院を中心とした聖なる空間を俗世間から区別するため
- 問11 弥生時代の人々が、収穫した米を保存する建物の床を地面から高く設計した理由として、当時の工夫を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
1. 風通しを良くして湿気を防ぐとともに、ねずみなどの害獣が侵入するのを防ぐため 2. 床下を家畜の飼育スペースとして利用し、限られた土地を有効に活用するため 3. 洪水が発生した際に建物全体が水に浮くようにし、米が濡れるのを防ぐため 4. 敵に米を奪われないよう、床下に深い穴を掘って隠し場所を作るため
- 問12 古代の倭（日本）の王や諸国の首長が、中国の皇帝へ貢物を送った「朝貢外交」の主な目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 中国の王朝を軍事的に支配下に置き、その領土を大陸側へ広げるための足がかりにするため 2. 中国にある高度な仏教建築の技術を独占的に導入し、日本国内に巨大な寺院を建立するため 3. 中国の皇帝から自らの地位や権威を認めてもらい、国内や周辺諸国に対する統治の正当性を得るため 4. 中国大陸での戦乱を鎮めるために、日本の強力な軍事力を提供して外交上の恩を売るため